

令和四年

松香 Komunikado

令和四年二月度月次祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Saluton al ĉiuj

皆様こんにちは。

ただいまは、松香分苑の令和四年二月度の月次祭を遠方からのご参拝もいただき、にぎにぎしく祭典を斎行させていただき誠に有難く思います。ご奉仕くださいました皆様方、又本日参拝いただけなかった方も、オンライン参拝並びにお玉串をお送りくださり、誠に有難うございました。

節分大祭も無事斎行されました。梅の花も咲きはじめ、寒さのなかにも明るく春を感じさせていただけです。今年の節分大祭には、祭官及び瀬織津姫に藤澤様ご夫妻がご奉仕くださいました。心身を清めて望まれたというところで最後まで無事にご奉仕くださいました。大きな御神徳を頂かれたものと思います。大変ご苦勞様でした。又皆様方には人型活動有難うございました。

二月十三日発行

第二百八十七号

大本松香分苑

豊橋市南牛川二・三・十二

電話 ファックス

〇五三二・六三・二一七三

発行責任者 山本 健

本日は三点お話しさせていただきます。一つ目は松香分苑のホームページ再開の件でございます。以前斌子が作ったものがありませんでしたが、中断しておりました。この度、岸本様にて新たに作成していただいております。

本年度の松香分苑の活動方針であります

一、内実化

(1) 全員参加による活性化

(2) 勉強会 (ZOOM) の継続実施拡大

(3) 他機関との交流

二、対外宣教活動

三、松香の文化継承 (毎年継続の日常のテーマ)

お取次ぎ、御祈願、ご神書拝読、神文奏上等、親切のありつたけを尽くしたお世話活動

をより活性化させていくためのツールとして、役立てていくことが目的でございます。

初代分苑長の松本先生は、「自分だけが信仰して幸せならよいというのは、我良し信仰になる。一人でも多くの方に大神様の存在をお伝えさせていただくのが、信徒特に宣伝使の勤めであり、大神様が最もお喜びになられること」と、仰っておられました。宣教活動は松香分苑の文化でありますので、是非、こうしたツールをうまく活用しながら充実を図り、宣教活動の良いサイクルが回りますよう、皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。

二つ目は、いまだに収まらないコロナについてですが、現在のオミクロンは従来と全く違って昔の普通の風邪に近くなっているようです。ファイザー社も今のワクチンはオミクロンには効かないので三月までに新しいワクチンを開発するといっています。長期どころか短期の治験もなく又特別承認という名目で使用し始めるのでしょうか。今のオミクロンには効かないというワクチンを三回目接種や子供にまで打たそうとしています。政府はワクチンを五億何千万回分契約しており、キャンセルができないため在庫消化をしているとの声もあります。オミクロンの感染力は強いです、重症化は少なく、海外ではピークは過ぎた国もあるようです。先日青松会長の鈴木林太郎様が、オンラインで「子供へのワクチン

接種について考える」と題して、子供は重症化が少ないのに中長期の安全性が確認できていないワクチンを接種するのは、慎重な判断をしてくださいと、教主様の示しを受けてお話がありました。このあとにこのビデオを皆様にぜひ見ていただきたく思います。インフルエンザにしても風邪は過去にも、毎年続いており、今後も続くと思います。従って大神様から頂いた体にある自己免疫を強くしていくしかないと思います。その為には、正しい食生活と、早寝早起きといった正しい生活習慣が大切です。大本では、愛善みずほ会が「天地の恵みに感謝し、天産物自給自足をめざす」ことを基本理念として安心安全な野菜作りの普及に取り組んでおられます。教主様は「家庭菜園などを通じて、多くの方がお土に親しみ、忘れかけていた天地の恵みに感謝し、喜びあふれる生き生きとした生活に目覚めて頂きたいと思えます」とお示しくださっております。現在、地震・火山噴火、戦争等大変な時代に入っていくという話が出ておりますが、私たち大本信徒は大神様、直接的には、教主様が進むべき方向をお示しくださっておりますので、教主様のご教導にしっかりとおすがりして、この大峠をお互いに助け合いながら乗り越えていきましょう。